

情報セキュリティ基本教育実証 WG

WG リーダー

日本アイ・ビー・エム株式会社 平山 敏弘

■ 当 WG 設立の目的

当 WG は、情報セキュリティの普及とスキル習得の地域格差是正を目指し、2006 年度に設立されました。

1) 情報セキュリティ基本教育の普及と社会貢献への意識向上

学生の方々に、社会でおきているセキュリティ事故が自分自身の身にいつ降りかかるかわからない危険性を認識してもらおうと共に、講義の中で学んだ情報セキュリティスキルとの関連を認識してもらおうことを目的としています。また情報セキュリティスキル習得の重要性およびそのスキルの活用が社会や企業活動に対して多く貢献することを意識してもらおうことも重要なテーマとして取り組んでいます。

2) 教育を受ける権利や機会の地域格差是正への取り組み

教育を受ける権利や機会の地域格差があってはなりません、分野によっては地域格差があるのもまた現実です。特に情報セキュリティの分野は歴史が新しいと共に、技術の進歩がとてつもなく早いために、最新の情報は専門の IT 企

業に集まり、地方の学生の方々が最新技術や業界動向などを学ぶことが難しい傾向があります。

当 WG では、その問題点を解決する 1 つの方法として、遠隔授業による講義実施を試みています。

■ 活動内容

当 WG は、2006 年度に岡山理科大学総合情報学部大西教授のご協力を得て「岡山理科大学遠隔授業実施 WG」として設立されました。岡山の学生の皆さんが、東京から JNSA WG メンバーである各企業の情報セキュリティ最前線のスペシャリストの面々による、回線経由でのライブでの遠隔授業実施とビデオ学習である VoD(Video On Demand) 形式での講義を受講することを実現しました。

2008 年度からは、「情報セキュリティ基本教育実証 WG」として、広く情報セキュリティ基本教育を広めることを目的として活動しています。基本月 1 回の定例を中心とした活動を実施しており、2008 年度の主な活動実績としては、岡山理科大において 2008 年 12 月 11 日～12 日に以下の合計 7 講義の集中講義を、東京からの遠隔授業で実施しました。



当集中講義は履修1単位対象となる岡山理科大学の正式な講義として実施されています。

特別集中講義の内容は以下になります。

- 1 時限目 インターネットセキュリティ概説
- 2 時限目 ウィルスの話
- 3 時限目 情報公開の意味
- 4 時限目 情報セキュリティ事件を始めとする問題提起
- 5 時限目 予防・再発防止策
- 6 時限目 コンピュータの仕組みとセキュリティ
- 7 時限目 情報セキュリティまとめ

2009年度は、合計15講義(2単位対象)を実施する通常講義として開講される予定で、今その準備を進めています。

■ WGメンバー

リーダー 平山 敏弘	日本アイ・ビー・エム株式会社
園田 道夫	サイバー大学
長谷川 長一	株式会社ラック
河野 省二	株式会社ディアイティ
大津 留史郎	日本アイ・ビー・エム株式会社
久波 健二	日本アイ・ビー・エム株式会社
濱本 常義	株式会社エネルギー・コミュニケーションズ
安田 直	JNSA 主席研究員 サイバー大学

■ 今後の予定

今後は、岡山理科大学で実施したコンテンツを他の教育機関に対し、情報セキュリティの基本教育普及を目的とした横展開を図っていきたいと考えています。情報セキュリティ基本教育の普及にご関心のある教育機関の方がいらっしゃいましたら、当WGにご連絡下さい。

また当WGでは随時メンバーの募集も行っていますので、情報セキュリティの普及や教育機関に対する講義実施などの人材育成に興味のある方はご連絡ください。